

部外祕

官副長官

陸密第一九五五號

支那事變ノ經驗  
ヨリ觀タル

軍紀振作對策

外事部別冊トレス保留下

61

2

1



3-2

15.12.

昭和十五年九月陸軍省印刷

1290

本冊ハ支那事變ノ經驗ニ基キ軍紀振作上主トシテ軍隊  
ニ於テ著意スヘキ事項ヲ記述セルモノニシテ内容更ニ  
推敲ノ餘地アルモ教育指導ノ参考トシテ印刷ニ附スル  
コトトセリ

# 陸密第一九五五號

教育指導参考資料送付ノ件關係陸軍部隊へ通牒

昭和十五年九月十九日

陸軍省副官

川原直一

「支那事變ノ經驗ヨリ觀タル軍紀振作對策」教育指導ノ参考トシテ送付ス

# 支那事變ノ經驗 ヨリ觀タル 軍紀振作對策

## 目次

### 緒言

### 第一、一般的事項

### 第二、主トシテ事變地ニ於テ著意スヘキ事項

### 第三、其ノ他

### 結言

### 附錄

主要多發犯ノ若干ニ對スル一部ノ觀察

## 緒 言

### 一、要 旨

軍紀ハ軍隊ノ命脈ナリ而シテ其ノ弛張ハ實ニ軍ノ運命ヲ左右スルモノニシテ透徹セル訓練モ之ニヨリテ能ク其ノ成果ヲ實戰場裡ニ發揚スルヲ得ヘク軍隊ノ指揮亦之ニヨリテ完璧ヲ期シ得ヘク聖戰ニ從フ皇軍ノ聲價モ之ニヨリテ光彩ヲ發揮スルコトヲ得ヘシ然ルニ支那事變勃發以來ノ實績ニ徵スルニ各關係當事者ノ努力ニ依リ漸次緊肅ノ道程ニ在リト信スルモ赫々タル武勳ノ反面ニ幾多其ノ弛緩ヲ實證セル事犯ヲ生起シ就中統帥指揮ノ神聖ヲ冒瀆シ軍存立ノ本義ヲ害スル軍紀犯並ニ武士道的精神及義ノ缺如ニ因由スル諸犯多發シ軍紀ヲ侵害セルノミナラス軍ノ威信ヲ失墜シ延イテハ聖戰ニ對スル内外ノ嫌惡反感ヲ招來シ治安工作ヲ害シ國際關係ニ惡影響ヲ及ホシ聖戰目的ノ達成ヲ困難ナラシメアルモノアルハ真ニ遺憾トスル所ナリ戰爭狀態長期ニ至ルニ從ヒ動モスレハ軍紀弛緩ノ諸因ヲ包藏シアルニ鑑ミ之カ振作ニ關シテハ格別ノ配慮ヲ要ス

### 二、支那事變間ニ於ケル犯罪、非行ノ特色

支那事變間ニ於ケル犯罪、非行ノ件數ハ國軍總兵員數ノ激増セルニ比スレハ其ノ增加率ハ必スシ

モ大ナラサルモ軍紀犯ハ平時ノ數倍ニ達シ就中軍紀上最モ忌ムヘキ上官暴行脅迫同侮辱犯激増シ、逃亡、掠奪、強姦、賭博等ノ惡質犯及經理上ノ非違行爲多發シ、幹部ノ犯罪非行亦少カラナルコトハ其ノ特色トス而シテ犯罪ノ件數ハ時日ノ經過ト共ニ漸増ノ趨勢ヲ示シ黨與上官暴行、用兵器上官殺害等ノ惡質犯發生セルハ特ニ注意ヲ要スル所ナリ

### 三、前項ノ外犯罪非行防遏上留意スヘキ主ナル事項左ノ如シ

1. 犯罪非行者ノ大部ハ事件生起當時飲酒ヲ伴ヒアルコト
2. 惡質ノ犯罪ハ召集者特ニ後備役、豫備役ノ者ニ多キコト
3. 事變地ニ於ケル犯罪非行ハ敵前ノ者ニハ比較的少キニ反シ警備勤務者及後方勤務者ニ多キコト
4. 事變地ニ於ケル犯罪非行ハ戰鬪直後及駐軍間ニ多發シ移動間特ニ戰鬪間ハ少キコト
5. 事變地ニ於テハ住民ニ對シ徒ラニ優越感ニ驅ラレ生起スル事犯多キコト
6. 内務ノ實施不確實ニ基因スル事故多キコト
7. 事變長期化ニ伴ヒ  
イ、犯罪、非行惡質巧妙化ノ傾向アルコト

ロ、現役者ノ事故漸増ノ傾向アルコト

ハ、駐留長期ニ及フヤ特ニ物慾犯增加ノ傾向アルコト

ニ、戦鬪倦怠、凱旋希望、軍隊生活厭惡ニ關スル要注意言動多キコト

8. 気候不順ノ地ニ於テハ精神錯亂ニ基因スル事故發生シアルコト

9. 事變地ヨリ歸還セル軍人、軍屬ノ要注意事故少カラサルコト

10. 軍服ヲ著用セル軍人軍屬ノ自肅自戒ヲ要スル非行多キコト

11. 軍機保護、防諜觀念ノ缺如ニ基ク事故多キコト

以下軍紀振作上著意スヘキ事項ニ付述ヘントス

## 第一、一般的事項

一、指揮官ハ軍紀ノ緊要ナル所以ヲ自覺シ身ヲ以テ之カ振作ニ任スルヲ要ス  
軍紀ノ振作ハ軍統率ノ重要要素ナリ各級指揮官ハ時ト所トヲ論セス身ヲ以テ之カ振作ヲ圖ルヲ要  
ス事變間各部隊ニ於ケル軍紀ノ振否ハ部隊ニ依リ著シキ差異アリ是レ下級幹部及兵ノ素質、環境  
等ニ依ルモノアリト雖モ其ノ根源ハ指揮官ノ軍紀肅正ニ對スル熱意ノ如何ニ支配セラルモノ多

キハ事實ノ證明スル所ナリ例ヘハ出征當初ヨリ深甚ナル注意ヲ以テ軍紀ノ振作ヲ圖リシ部隊ハ克ク當初ヨリ嚴肅ナル軍紀ヲ保持スルヲ得タルニ反シ嚴然タル統率ヲ缺キ常ニ事勿レ主義ヲ以テ臨ミ動モスレハ部下ノ歡心ヲ求ムルニ汲々トシテ不軍紀事件發生スルモノ之ヲ不問ニ附シアリシ部隊ハ事犯ヲ累加シ遂ニハ重大事件ヲ生起シ統率至難ニ陥リシカ如キ或ハ指揮官ノ軍紀振作ニ對スルハ斷乎タル處置ヲ講セシ以後ニ於ケル其ノ成績ハ著シク良好ニ向ヒタルカ如キ或ハ指揮官ノ交代ニヨリ其ノ部隊ノ軍紀ノ狀況急變セルモノアルカ如キ或ハ歸還部隊ノ指揮官ニシテ指揮的確ナリシ部隊ノ軍紀ハ著シク良好ナリシカ如キ或ハ事變地ヨリノ携行並ニ還送私物品ニ關シ指揮官カ周到ナル監督指導ヲ實施セル部隊ノ成績ハ極メテ良好ナリシカ如キ等是ナリ

## 二、指揮官(幹部)ハ部下ニ對スル任務ノ附與ヲ適切ニシ命令(規定)、指示ヲ的確ナラシムルヲ要ス

犯罪非行生起ノ原因ヲ觀ルニ任務ノ附與適切ナラス命令(規定)徹底ヲ缺キ指示的確ナラサルニ基因スルモノ少カラス例ヘハ事變地ニ於ケル出張、派遣及退院兵ニシテ速カニ部隊ニ復歸セス後方地區ヲ流浪シ遂ニ逃亡罪ヲ犯シ又ハ金錢缺乏ニ基キ或ハ誘惑ニ依リ各種犯罪ヲ犯スモノアルハ一面出發ニ當リ指揮官ノ任務ノ附與的確ヲ缺キ退院時ノ指示懇切ヲ缺キシニ因由スル所アルカ如キ

或ハ兵站地通過及宿營部隊ニシテ兵站司令官ノ規定徹底セサルニ基因シ不軍紀ナル行爲ニ陷ル者アルカ如キ或ハ諸勤務者ニ與フル任務的確ナラスシテ服務緊張ヲ缺クノ因ヲナシ或ハ駐留地ニ於ケル警備規定不十分ニシテ軍紀違反ノ誘因ヲナセルカ如キ等是ナリ

### 三、軍紀振作ノタメ幹部教育ヲ徹底セシムルヲ要ス

諸事犯ノ由テ來ル所ハ多々アルヘシト雖モ幹部ノ德操ノ缺如、統率指揮ノ不嚴正、教育指導力ノ不十分ニ基因スル所尠シトセス事變下國軍幹部ノ大部ハ應召者ニシテ教育訓練十分ナラサルモノヲ包含シ殊ニ下級幹部中ニハ指揮官タリ教官タルノ素養ニ缺クルモノアルニ鑑ミ之カ教育指導ヲ適切ニシ以テ嚴肅ナル軍紀ノ振作ヲ期スルノ要切ナルモノアリ之ヲ上官ニ對スル軍紀犯ニ就テ觀ルモ幹部ニ於ケル武徳ノ缺如、處置、態度適當ナラサルニ基因スルモノ少カラサルヲ認メラル即チ犯罪生起ノ原因ノ一半ハ上官ニアルコトヲ省思セサルヘカラス

又軍紀ヲ緊肅スルノ要ハ幹部ノ垂範ニ在ルニ拘ラス幹部ノ犯罪、非行専カラスシテ累ヲ部下ニ及ボシアルモノアルハ真ニ遺憾トスル所ナリ

從來下級指揮官ノ指揮及指導適切ナラス軍紀弛緩ノ因ヲナセリト思料セラルル事項左ノ如シ

1. 聖戰目的ヲ了得セス且軍ハ軍紀ヲ以テ成ルノ所以ヲ理解セス爲ニ皇軍ヲシテ自ラ其ノ威武

ヲ損セシムルノ虞アルモノアリ

2. 指揮官タルノ責務ノ重且大ニシテ指揮權ノ神聖不可侵ナルコトニ關スル自覺及信念十分ナラサルモノアリ

3. 指揮權行使ノ嚴正的確ヲ缺キ徒ラニ部下ニ迎合シ事勿レ主義ニ惰スルモノ、甚タシキハ不良ナル部下ニ憎伏シ其ノ顧使ニ甘ンスルカ如キモノアリ

4. 軍紀ヲ振作セントスルノ熱意ニ乏シク且軍紀ヲ振作スルハ眞ニ部下ノ名譽ヲ發揚シ之ヲ愛護スル途ナルコトニ關シ認識十分ナラサルモノアリ

5. 軍事能力ノ不足ヨリ指揮ニ自信ナク之カ嚴正ヲ缺キ自ラ軍紀ヲ弛緩セシメシモノアリ

#### 四、服從觀念ヲ透徹セシムルヲ要ス

事變勃發以來ノ軍紀犯ノ發生狀況ヲ觀ルニ軍紀ニ關スル信念徹底ヲ缺キ服從心ニ動搖ヲ生シ遂ニハ上官蔑視ノ下剋上の觀念胚胎シ上官ノ處置、態度若クハ自己ニ對スル取扱ニ不満ヲ抱キ反抗心ヲ起シ上官暴行脅迫、侮辱、抗命等ノ重要軍紀犯ヲ敢行スルニ至レルモノ多シ一層軍紀ニ關ズル確乎タル信念ニ基キ上官ニ對シテハ絶對ニ服從スヘキコトヲ習性タラシムル如ク教育指導スルヲ

#### 要ス

而シテ禮儀ノ嚴正ナル實施ハ服從心ヲ涵養シ軍紀ヲ確立スルタメノ要件タルハ茲ニ贅言ヲ要セサ  
ル所ナリ然ルニ今次事變以來ノ教訓ニ徵スルニ禮儀ノ實施嚴正ヲ缺キ延イテハ軍紀ヲ紊ルノ因ヲ  
釀成セシモノ尠カラサルハ特ニ留意ヲ要スル所ナリ

## 五、部下ノ教導薰化ヲ徹底セシムルト共ニ監督指導ヲ周到ニシ過誤ヲ未然ニ 防遏スルヲ要ス

幹部ハ眞ニ骨肉ノ情ヲ以テ部下ヲ教導薰化スルト共ニ一面監督指導ヲ周到ニシ過誤ヲ未然ニ防遏  
スルヲ要スルニ如クニシテ始メテ部下ヲシテ上官ハ眞ニ己ノ擁護者タルノ念ヲ懷キ死生ノ間眞ニ  
上官ニ服從スルニ至ラシメ軍紀ヲ確立スルヲ得ヘシ戰時ニ於ケル軍隊ハ各種ノ經歷及素質ノ者ヲ  
包含シアル實情ニ於テ特ニ然リトス從來此等ニ關スル著意並ニ指導ノ不徹底ニ基因シ部下ヲシテ  
過ヲ犯サシメ軍紀ヲ紊ルニ至ラシメタルモノ頗ル多シ各種事故發生原因ノ大部ハ幹部指導監督ノ  
不備ニ在リト言フモ過言ニアラス例へハ或ハ特ニ注意ヲ要スル兵ニ對スル身上調査周到ヲ缺キ教  
導薰化ノ實ヲ舉ヶ得ス爲ニ自殺、逃亡等ヲ豫防シ得サリシ例少カラサルカ如キ或ハ監督指導ノ不  
十分ヨリ經理上ノ非違行爲者ヲ續發セシメシモノアルカ如キ等ハ其ノ一例ナリ  
而シテ上官カ、平素部下ノ言動ニ著意シ絶エス監督ヲ怠ラサルトキハ克ク過誤ヲ未然ニ防止シ得

ヘシ卑近ナル一例ヲ述フレハ左ノ如シ

1. 某中隊長ハ中隊ノ郵便物配達簿ト面會簿トヲ一覽シテ某伍長ニ對シ面會人ノ多キト來信（發信人ハ異ナルモ）ノ多キトニ氣附キ取調ヘタルニ何レモ同一婦人ナリシヲ以テ情婦ナラント更ニ調査ヲ進メタルニ豈圖ランヤ同婦人ハ所謂主義者ノ手先ニシテ伍長ヲ同志ニ引入レントセルモノナルヲ發覺シ過ヲ未然ニ防止シ得タリ
2. 某大隊長ハ大隊内ニ於ケル下士官ノ貯金通帳ヲ一覽セルニ某曹長ハ三ヶ月前ニ貯金ノ大部ヲ引出シタルノミナラス爾後貯金シアラス依ツテ之ヲ中隊長ニ質シタルニ中隊長ハ某曹長ハ家庭貧ニシテ月々實家ニ送金シアリト答ヘタルハ大隊長ハ更ニ其ノ送金爲替ノ受領證ノ提示ヲ要求セリ是ニ於テ中隊長之ヲ調ヘタルニ送金ノ事實ナク某曹長ハ某料亭ノ女中ヲ某所ニ匿ヒ之ニ仕送リフナシ且金錢ニ窮シ同僚及中隊内ノ兵ヨリ借金シアルコトヲ發見シ反省セシムルヲ得タリ
3. 某聯隊長ハ傳票ニ訂正印アルヲ發見シ之ヲ調査シタルニ某主計軍曹ノ不正行爲ナルコトヲ發覺セリ然レトモ未タ之ヲ決行シアラサリシヲ以テ辛ウシテ犯行ヲ未然ニ防止シ金錢ニ關係ナキ業務ニ轉移セシメタリ同軍曹ハ爾後准尉マテ進級シ一身ヲ完ウシテ豫備役ニ入レルカ是

上官ノ指導宜シキヲ得シ賜ナリト言ヒ得ヘシ

## 六、賞罰ノ行使ヲ嚴正ナラシムルヲ要ス

賞罰ヲ明カニシ之カ行使ヲ嚴正ニスルハ軍隊統率上ノ要諦ナリ然ルニ事變發生以來ノ實情ニ徵スルニ或ハ事犯生起當初關係上官ニ於テ毅然トシテ之ニ對處スルコトヲ躊躇シ爲ニ逐次重大犯ヲ累加セシメシモノ或ハ刑ノ量定適當ナラス軍紀犯ニ輕クシテ一般犯ニ重キニ失スル嫌アル者或ハ懲罰ノ罰目ノ選定並ニ其ノ期間ニ關シ懲罰令ノ本旨ニ合致セサルモノ或ハ動モスレハ刑法ニ觸ルル性質ノ犯罪ヲ懲罰ニヨリ糊塗セントスルカ如キモノ等アリ特ニ軍紀的事犯ニ對シテハ斷乎タル處置ヲ講シ禍根ヲ一掃スルヲ必要トス

又幹部ニ對スル賞罰適正ヲ缺キ或ハ監督者ニ對スル責任ノ追及ヲ不問ニ附スルカ如キコトアラハ軍紀ノ振作ハ期シ難キニ留意スルヲ要ス

## 七、軍隊内務ノ刷新ヲ圖ルヲ要ス

支那事變下ニ於ケル軍隊ノ内務ハ遺憾ナカラ極メテ不振ニシテ之ニ因由スル幾多ノ事故ヲ發生シアリ一、二ノ事例左ノ如シ

1. 兵營ハ苦樂ヲ共ニシ死生ヲ同ウスル軍人ノ家庭ニシテ融々和樂ノ間團結ヲ鞏固ニスヘキモ

- ノナルニ拘ラス相互融和ノ氣風ヲ缺キ或ハ傷害事件ヲ惹起シ或ハ内務班(宿舎内)ハ正常ナラ  
サル小言ヲ受タル場所ト化シ或ハ私的制裁其ノ跡ヲ絶タサル等ノ爲特ニ下級者ハ内務ノ起居  
ヲ厭ヒ遂ニハ逃亡自殺者ヲ發生スルニ至リシモノ少シトセス
2. 内務ノ實施不確實ニ基因シ廠營間無断引率外出遊興セシモノアリ
  3. 内務ノ履行不確實ニ因リ營内(宿舎内)ヨリ火災ヲ發生セルモノアリ
  4. 物品授受ニ關スル内務規定ノ不備ニ因リ重要機祕密書類ヲ紛失セルモノアリ
  5. 公用證ノ取扱適切ナラス事故發生ノ因ヲナセルモノアリ
- 内務ノ不振ハ兵員素質ノ低下、教育期間ノ短縮、戰場心理ノ波及、幹部移動ノ頻繁等幾多ノ原因  
アルヘキモ幹部特ニ下級幹部中ニハ進級ノ迅速、教育ノ不十分等ニ因リ經驗及能力ニ乏シク内務  
指導ノ要ヲ得サルモノ少カラサルニ因ル所大ナリト思料セラル即チ或ハ部下ノ過失ヲ矯正スルニ  
叱責、殴打ヲ以テ事足レリトシ諄々薰化指導スルノ著意ヲ缺クモノ或ハ之ニ反シ徒ラニ誤レル溫  
情ニ惰シ事勿レ主義ニ陥ルモノ或ハ週番士官ニシテ内務書精神ノ理解ヲ缺キ外出許可穩當ナラサ  
ルモノアルカ如キハ此間ノ事情ヲ立證スルモノナリ
- 各隊長ハ現下軍隊内務ノ實情及之カ不振ノ原因ヲ究メ教練ト内務トノ調和ヲ圖ルハ勿論各種ノ手

段ヲ盡シテ直接内務ノ指導ニ當ル下級幹部ノ之ニ關スル能力ヲ向上セシメ内務ノ刷新ヲ圖ルヲ要ス

尙事變地ニ於ケル内務ノ實施及起居ノ施設ハ内地ノ夫レニ比シ懸隔大ニシテ内地ノ教育ヲ受ケタル者カ一度事變地ニ臨ムヤ反動的ニ軍紀ヲ棄スノ傾向ナキヤヲ虞ル指揮官（幹部）ハ事變地ノ特殊環境ニ鑑ミ一層眞劍ナル教育指導ヲナスコトヲ肝要トス

八、部下ノ非違矯正上ノ手段方法、時期、場所等ニ就テハ細心ノ注意ヲ拂ヒ  
慎重ヲ期スルノ要アリ特ニ私的制裁ハ之ヲ根絶セシムルヲ要ス

部下ノ非違矯正時ノ態度、言語穩當ヲ缺キ飲酒酩酊時又ハ環境ヲ考慮セス妄リニ多衆ノ面前ニ於テ叱責スル等ハ矯正ノ目的ヲ達セサルノミナラス却ツテ反抗心ヲ生起セシムルノ虞アルコトアリ特ニ私的制裁ハ其ノ弊害最モ大ニシテ軍紀ヲ棄リ團結ヲ破リ軍隊ニ於ケル犯罪生起ノ重要原因ヲナシアリ對上官犯ニ就テ之ヲ觀ルモ上官ノ處置ヲ恨ミ私刑ヲ受ケテ俄然之ニ反抗セルモノ少カラサルハ此ノ間ノ事情ヲ立證スルモノナリ

九、人事其ノ他ノ取扱ハ特ニ公平ナラシムルヲ要ス

犯罪生起ノ原因ヲ觀ルニ上官ノ人事其ノ他ノ取扱カ不公平ナリトシテ不平不満ヲ抱キ機ニ乘シテ

暴行行爲ニ出テタルモノ甚タ多シ特ニ事變地ニ於ケル下士官兵ノ進級問題ニ於テ然リ

尙細部ニ亘リ述フレハ左ノ如シ

1. 自昭和十三年九月至昭和十四年十一月約十五ヶ月間ニ發生セル對上官犯三七六名ニ付之ヲ  
觀ルニ三七名即チ約一割ハ人事ノ不平ニ基キ上官暴行ヲ敢行セルモノナリ
2. 歸還兵ノ要注意言動九六一件中二八六件即チ三分ノ一弱ハ戰地ニ於ケル人事ノ不平ヲ漏ラ  
セシモノニシテ又現地ノ通信檢閱ニ依リ觀察スルニ人事ノ不平ヲ記述シテ上司ヲ怨恨セルモノ  
頗ル多シ

#### 十、飲酒ニ關スル指導ハ周到ナルヲ要ス

酒カ犯罪非行ノ原因トナリ或ハ動機トナルコトハ犯罪非行者ノ大部カ事件生起時飲酒ヲ伴ヒアル  
コトニ依リテモ明カナリ幹部ハ之ニ關スル精神教育ヲ徹底セシメ且酒癖者ニ對スル指導ヲ適切ニ  
スルハ勿論、加給酒分配ノ時期分量、酒保ニ於ケル酒販賣ノ制限、強烈ナル支那酒ノ取締等飲酒  
ニ關スル指導ニ周到ナル配慮ヲ要ス

#### 十一、軍紀振作ノ爲憲兵トノ協力ニ努ムルヲ要ス又事故生起ノ場合ハ機ヲ失 セス上級指揮官ニ報告シ之カ處理ニ遺憾ナキヲ期スルヲ要ス

往々ニシテ憲兵トノ協力ヲ厭忌スル傾向アリ憲兵ハ軍隊ノ擁護者タルノ念ヲ以テ積極的ニ連繫協力ヲ求メ以テ事犯ヲ警防シ且事件生起後ノ處斷ヲ適正ナラシムルコトハ事變下ニ於ケル軍隊ノ實狀ニ鑑ミ特ニ必要ト思料ス

又事件生起ノ場合動モスレハ上級指揮官ニ報告スルコトナク之ヲ處理セントスルモノアリ宜シク機ヲ失セス之ヲ報告シ上級指揮官ノ統率ヲ容易ナラシムルト共ニ事件ノ處理ニ遺憾大キヲ期スルコト肝要ナリ

十一、銃後ノ後援ヲシテ軍ノ志氣ヲ振起スルト共ニ併セテ軍紀ノ振作ニ資スル如ク指導スルコト肝要ナリ

出征時ニ於ケル郷黨先輩ノ激勵的言辭竝ニ戰地ニ於テ受クル郷黨ヨリノ激勵的通信カ出征軍人ノ志氣ヲ振起スルニ大ナル感響アルハ其ノ事例少カラサルニ著意スルコト必要ナリ

## 第二、主トシテ事變地ニ於テ著意スヘキ事項

一、皇軍ノ本質並ニ今次聖戰ノ意義ヲ的確ニ把握シ其ノ行動ヲシテ之ニ即應セシムルヲ要ス

事變勃發以來ノ實情ニ徵スルニ赫々タル武勳ノ反面ニ掠奪、強姦、放火、俘虜慘殺等皇軍タルノ本質ニ反スル幾多ノ犯行ヲ生シ、爲ニ聖戰ニ對スル内外ノ嫌惡反感ヲ招來シ聖戰目的ノ達成ヲ困難ナラシメアルハ遺憾トスル所ナリ宜シク皇軍ノ本質竝ニ今次聖戰ノ目的ハ抗日排日容共政權及ノ軍隊ヲ打倒シ東洋永遠ノ平和ヲ確立シ新秩序ノ建設ニ寄與スルニ在リテ決シテ一般民衆ヲ敵トスルモノニ非サル所以ヲ一兵ニ至ルマテ徹底セシメ其ノ行動ヲシテ之ニ即應セシムルコト肝要ナリ

## 二、事變地ニ於ケル軍紀ノ實相特ニ犯罪非行ノ特色ヲ把握シ其ノ因テ來ル所ヲ究メ指導取締上ノ要點ヲ逸セサル如ク留意スルヲ要ス

## 三、戰鬪行動直後ニ於ケル軍紀風紀ニ關スル指導取締ニ就キ格別ナル留意ヲ必要トス

犯罪非行生起ノ狀況ヲ觀察スルニ戰鬪行動直後ニ多發スルヲ認ム是レ戰鬪間ニ於ケル殺伐タル心情ノ餘波ヲ受ケアリト思料セラルルヲ以テ戰鬪直後ノ指導取締ニハ特別ナル留意ヲ必要トス

## 四、事變地ニ於テモ萬難ヲ排シテ教育訓練ヲ勵行スルヲ要ス

今次事變ニ於ケル部隊ノ編成、素質及戰場ノ諸相ヨリ考フルニ「且教へ且戰フ」ハ最モ必要トスル

所ニシテ之ニ依リテ將兵ヲシテ常ニ軍紀ヲ嚴正ニシ志氣ヲ振起シ團結ヲ強化シ戰力ヲ發揮スルコトヲ得ヘシ特ニ戰場ノ機微ノ間ニ實施セル精神教育ハ深キ感銘ヲ與ヘ發奮興起ノ基トナルハ想像外ニシテ平時ニ於テ見ラレナル所ナリ而シテ戰地ニ於テ最モ困難トスルハ資料ノ乏シキニアリ特ニ現下軍隊下級幹部ノ精神教育能力ニ鑑ミ之カ資料ヲ作製配布スルノ著意ヲ必要トス  
又戰地ニ於ケル起居ハ不規則ニ瓦リ易キヲ以テ機會ヲ求メテ軍紀訓練ヲ實施スルハ價值大ナルモ

犯罪非行生起ノ狀況ヲ觀多シノニ「且戰へ且教」ハ特別ナル留意ヲ必要トス  
情ノ餘波ヲ受ケアリト思料セラルルヲ以テ戰鬪直後ノ指導取締ニハ特別ナル留意ヲ必要トス

#### 四、事變地ニ於テモ萬難ヲ排シテ教育訓練ヲ勵行スルヲ要ス

今次事變ニ於ケル部隊ノ編成、素質及戰場ノ諸相ヨリ考フルニ「且教へ且戰フ」ハ最モ必要トスル

所ニシテ之ニ依リテ將兵ヲシテ常ニ軍紀ヲ嚴正ニシ志氣ヲ振起シ團結ヲ強化シ戰力ヲ發揮スルコ  
トヲ得ヘシ特ニ戰場ノ機微ノ間ニ實施セル精神教育ハ深キ感銘ヲ與ヘ發奮興起ノ基トナルハ想像  
外ニシテ平時ニ於テ見ラレサル所ナリ而シテ戰地ニ於テ最モ困難トスルハ資料ノ乏シキニアリ特  
ニ現下軍隊下級幹部ノ精神教育能力ニ鑑ミ之カ資料ヲ作製配布スルノ著意ヲ必要トス  
又戰地ニ於ケル起居ハ不規則ニ瓦リ易キヲ以テ機會ヲ求メテ軍紀訓練ヲ實施スルハ價值大ナルモ  
ノアルヘシ

尙從來犯行者取調ノ結果ニ徵スルニ陸軍刑法、同懲罰令ニ關スル必要事項ノ教育不十分ナルタメ  
不知ノ間ニ犯罪非行ヲナセルモノ尠カラサルヲ以テ苟モ此等教育ノ不徹底ニ基キ勳功アル部下ヲ  
シテ犯罪者タルノ汚名ヲ蒙ラシムルコトナキヲ要ス

#### 五、事變地ニ於テハ特ニ環境ヲ整理シ慰安施設ニ關シ周到ナル考慮ヲ拂ヒ殺 伐ナル感情及劣情ヲ緩和抑制スルコトニ留意スルヲ要ス

環境カ軍人ノ心理延イテハ軍紀ノ振作ニ影響アルハ贅言ヲ要セサル所ナリ故ニ兵營(宿舎)ニ於ケ  
ル起居ノ設備ヲ適切ニシ慰安ノ諸施設ニ留意スルヲ必要トス特ニ性的慰安所ヨリ受クル兵ノ精神  
的影響ハ最モ率直深刻ニシテ之カ指導監督ノ適否ハ志氣ノ振興、軍紀ノ維持、犯罪及性病ノ豫防

等ニ影響スル所大ナルヲ思ハサルヘカラス

一六

### 第三、其ノ他

#### 一、在郷軍人ニ對スル教育指導ニ就テ

今次事變勃發後二ヶ年間ニ發生セル在支全軍ノ犯罪ヲ役種別ニ就テ調査スルニ

豫備役	四六三
後備役	六一四
補充兵役	二八五
現役	一、三六二

三一二

ニシテ應召者ニ極メテ多ク又應召者ノ犯セシ罪質ハ軍成立ノ根元ニ觸ルル對上官犯或ハ聖戰完遂ヲ妨害スヘキ掠奪、強盜、強姦等極メテ惡質ナルモノ多發シアリ此ニ依リテ觀ルモ軍紀振作上在郷軍人ノ教育指導ニハ格別ナル配慮ヲ要スルモノト思料セラル

#### 二、事變地在留邦人ノ取締指導ニ就テ

部隊ノ駐留、移動ヲ問ハス最モ關係深キハ邦人居留民ナルヘシ過去ノ事例ニ依リ之ヲ觀察スルニ

特ニ作戦部隊ニ跟隨移動スル邦人ノ中ニハ不良性ヲ帶ヒ部隊ノ軍紀ヲ紊シ宣撫工作ヲ害スルモノ  
アルヲ以テ之カ取締ヲ適切ニシ累ヲ軍隊ニ及ホササルコトニ著意スルヲ要ス

### 結 言

軍紀振作ノ爲ニハ以上述フルカ如ク各般ノ事項ニ亘リ著意スルヲ要スルモ軍紀振作ノ要ハ軍紀ノ源泉タル將校先ツ自ラ武徳ヲ涵養シ統率指揮ヲ嚴正ニスルト共ニ教育指導ヲ適切ニシ部下ノ服從觀念ヲ透徹セシメ且信賞必罰ヲ勵行シ身ヲ以テ之カ振作ヲ圖ルニ在リ特ニ軍紀ノ根本ニ牴觸シ自由主義思想ニ胚胎セル下剋上の對上官ノ軍紀犯並ニ皇軍ノ本質ニ背馳スル掠奪、強姦等ノ惡質犯多發セルハ國軍ノ爲誠ニ痛嘆ニ堪ヘサル所ニシテ宜シク其ノ因テ來ル所ヲ究メ抜本塞源的芟除策ヲ講シ軍紀ヲ確立シ以テ益々皇軍ノ眞價ヲ發揚スルヲ要ス

## 附 錄

### 主要多發犯ノ若干ニ對スル一部ノ觀察

對上官犯、掠奪、強姦、賭博犯、經理上ノ非違行爲等戰時多發犯ニ對シ注意スヘキ事項ハ本文ノ記述スル所ニ依リ概ね盡キアルモ其ノ重要性ニ鑑ミ重複ヲ厭ハス一部ノ觀察ヲ記シ參考ニ資セン

トス

#### 一、對上官犯ニ就テ

支那事變勃發ヨリ昭和十四年末ニ至ル間ニ軍法會議ニ於テ處刑セラレシ者ハ上官暴行脅迫、同侮辱五八八抗命七八ニ達シアリ尙右ノ他隱レタル犯行者アルニ想到セサルヘカラス之ヲ日露戰爭全期間ニ發生セル對上官犯一二〇ニ比スルニ今次事變ニ於テハ兵力亦增大シアルモ犯罪生起ノ比率甚大ナルヲ認メ得ヘシ本事犯ハ支那事變勃發以來支那事變地、滿洲、内地ヲ問ハス全軍ニ瓦リ急激ニ増加シ當事者ノ異常ナル努力ニモ拘ラス依然減少セサルノミナラス上官殺害、黨與暴行、對直屬上官犯等其ノ内容惡質ノモノヲ生シアリ

而シテ本事犯多發ノ因ツテ來ル所ハ複雜多岐ナルモ幹部特ニ下級幹部ノ德操ノ缺如、指揮統御及

教育能力ノ不十分竝ニ下級者ノ軍紀ニ對スル觀念ノ缺如ニ基因スル所大ナリト思料セラル尙幹部ノ軍紀振作ニ關スル監督指導的確ヲ缺キ事犯生起スルモ表面ヲ糊塗シ斷乎タル處分ノ實施ヲ躊躇シ爲ニ逐次重大事犯ヲ累加セシメアルモノ少カラサルコト竝ニ飲酒カ犯行直接ノ動機トナレルモノ多キコトハ教育指導上特ニ注意ヲ要スル所ナリ

本事犯ハ軍隊存立ノ根本ヲ破壞スル虞アルモノナルヲ以テ深ク其ノ原因ヲ究メ徹底セル對策ヲ講シ之ヲ警防スルト共ニ一度事犯生起セハ斷乎タル處置ニ出テ以テ軍紀ヲ確立スルヲ要ス

## 一、掠奪、強姦、賭博等ニ就テ

支那事變勃發ヨリ昭和十四年末ニ至ル間ニ軍法會議ニ於テ處刑セラレシ者ハ掠奪、同強姦致死傷四二〇、強姦、同致死傷三一二、賭博四九四ニ達シアリ其ノ他支那人ニ對スル暴行、放火慘殺等ノ所爲亦散見スル所ナリ

抑々此種事犯ハ皇軍ノ本質ニ戾ル惡質犯ニシテ軍紀ヲ棄ルノミナラス事變地民衆ノ抗日意識ヲ煽リ治安工作ヲ妨ケ支那側及第三國ノ宣傳資料ニ利用セラレテ皇軍ノ聲價ヲ傷ケ延イテハ對外政策ニモ不利ナル影響ヲ及ホシ聖戰目的ノ遂行ヲ阻害スル等其ノ弊害誠ニ大ナルモノアリ宜シク軍隊幹部ニ於テ部下ノ教育指導ヲ適切ニシ特ニ今次聖戰ノ目的ヲ一兵ニ至ルマテ徹底セシメ其ノ行動

ヲ之ニ即應セシムルト共ニ慰安其ノ他ノ諸施設ヲ強化スル等各種ノ手段ヲ講シ以テ此種犯行ヲ防遏シ皇軍ノ真價ヲ發揚スルヲ要ス

### 三、經理上ノ非違行爲ニ就テ

經理上ノ非違行爲ノ防遏ニ就テハ各種ノ機會ニ於テ上司ヨリ屢々注意ヲ喚起セラレタル所ナルモ事犯ハ依然トシテ續出シアリ

而シテ往々其ノ手段極メテ巧妙ニシテ尋常ノ手段ヲ以テハ之カ警防容易ナラサルモノアルコト、甚シキハ巧妙ナル方法ニ依リ贈賄ヲ要求セルカ如キモノアルコト、非行者ノ大部ハ遊興ニ耽リ而モ長期間ニ亘リ犯行ヲ繼續セルモノ多キコト並ニ事變ニ當リ軍關係業務ニ從事スルニ至レル軍屬等ニ在リテハ地力ノ風習ヨリ推斷シテ此種非違行爲ニ對スル是非ノ觀念透徹セサルモノアルコト等ハ監督指導上留意ヲ要スル所ナリ

民間業者中ニハ各種ノ老猾ナル術策ヲ以テ軍關係者ニ接近シ不正手段ニ依リ利益ヲ壟斷セントスルモノヲ生シ易キ社會ノ實相ニ鑑ミ本事犯ノ防遏ニ就テハ特ニ深甚ナル配慮ヲ必要トス